

トピックス **ぶらす**

8/26

不戦と恒久平和を心一つに誓う

市戦没者追悼式が8月26日、登米祝祭劇場で行われ、遺族など約400人が参列しました。戦没者の冥福を祈り全員で黙とうを捧げた後、市長が「悲しみを繰り返さない決意をし、戦争の悲惨さと平和の尊さを次の世代に伝えていきたい」と式辞を述べました。その後、参列者一人一人が祭壇に向かって白菊を献花し、戦没者の冥福を祈りました。



▲英霊をしのび、永遠の平和を誓った戦没者追悼式

9/1

仙台の中心商店街から「登米市」を発信

県内産材を主体に、生活者視点のモノづくりを行っているもくもくハウスのアンテナショップ「もくもくハウス仙台店」が9月1日、仙台市宮城野区東八番丁にオープンしました。仙台店には、お椀などの定番商品のほか、素材を活かした「もくもく人と木シリーズ」などが並び、今後、県の中心商店街から、登米市の魅力を発信していきます。



▲開館と今後の発展を記念してテープカット

9/4

市民70クルーが水しぶきをあげ力漕

秋の訪れを告げる風物詩として定着した、長沼レガッタが9月4日、長沼ポート場で開催されました。参加した選手たちは汗と水しぶきをあげ湖面での熱戦を繰り広げました。コースの沼岸には、職場やクルーの応援団のテントが並び、駆けつけた選手たちの職場の同僚や家族などで、にぎわいを見せていました。



▲掛け声に合わせて湖面を力漕するクルー

9/8

絵本の世界を楽しもう！

子どもの読書活動の推進を目的に、今年で12回目を迎える「絵本原画展」の開場式が、9月8日、登米祝祭劇場で行われました。当日は、関係者によるテープカットで開場し、訪れた東佐沼幼稚園児は、普段見る機会のない絵本の原画を見たり、展示されている絵本を友達と一緒に読んだりしながら、絵本の世界を楽しんでいました。



▲絵本の原画や、数多くの絵本を楽しむ園児たち

秋 登米で「町内一斉清掃」
まつりに向け街をきれいに

登米地区で9月11日、町内一斉清掃が自治会ごとに行われ地域の道路や公園などを清掃しました。登米地区では、大勢の観客が訪れ、豪華絢爛な山車や神輿が観客を魅了する「登米秋まつり」が開催される9月に合わせ、毎年町内一斉清掃を実施しています。この日はあいにくの曇り空でしたが、参加者は除草作業のほか、道路などに散乱している空き缶や空き瓶、紙くずなどを、可燃・不燃袋にきちんと分別しながら、地区ごとに決められた集積所に運び街をきれいにしました。



▲地区の住民が協力し、地区の隅々まできれいにしました

世 南方大門行政区で「手づくり芸能まつり」
代を越えた活動で交流を

南方大門行政区の協働のまちづくり地域交付金活用事業として「震災復興支援手づくり芸能大会」が9月18日、東郷公民館を会場に開催されました。今年「震災から立ち上げれ」をスローガンに、旧イオン跡地に建設された仮設住宅への入居者を招き、行政区の皆さんによる民謡、舞踊、カラオケなどの演目が披露されました。会場に集まった約150人の観客からは、大きな拍手が送られました。また、昼食には、おにぎりとはっと汁が振る舞われるなど、芸能まつりや食事を通して互いの交流を深めました。



▲演目のトップを飾った小学生による「大黒舞」

今 迫で「市消防団迫支団全体訓練」
後の地区を守る若手を育成

市消防団迫支団全体訓練が8月28日に長沼フットピア公園を会場に開催され200人が参加しました。この訓練は、全団員が集結し、規律や基本動作の再確認、団員の士気高揚と技術向上を図ることを目的に開催され「通常点検・機械器具点検・小型ポンプ操法・分列行進」などの訓練を実施しました。全体での訓練は4年ぶりでしたが、これからの迫町の安全を担う若手団員の育成が特に重要であるため、通常の訓練よりも若手の団員が多く参加し、参加者からは毎年の実施を望む声が多く上がりました。



▲迫地区全団員が一堂に会し、基本動作や操法を訓練しました